

平成24年度財団法人とちぎ未来づくり財団事業計画

I 基本方針

財団法人とちぎ未来づくり財団は、次代を担う子ども及び青少年の福祉の増進に資するとともに、県民の生活に潤いと活力をもたらす文化の振興に寄与するため、子ども及び青少年の健全育成に関する事業と県民の文化の向上に関する事業とを相互の連携のもとに展開していくものとする。

この目的実現のため、県から管理を受託する7施設において、これまで財団で培ってきたノウハウを活かして、それぞれの機能を最大限に発揮できるよう努めるものとする。

また、現下の厳しい経済・財政状況等を踏まえた経営効率化に努めながらも、県出資法人の一つとして、これまで以上に公益性を意識した事業展開を進めて、財団の人的資源や物的資源を活用して地域社会に貢献していくため、公益財団法人への移行を見据えた改革を進めることとする。

II 主要事業内容

1 青少年健全育成事業

(1) 市町村民会議との連携強化・住民啓発促進に関する事業

青少年育成の市町総ぐるみ運動を実践する市町村民会議が、昨年10月、県内26の全市町に設置された。今後はさらに協力関係の強化に努め、市町における青少年育成活動の活性化を促進するとともに、住民の青少年育成に対する関心を高めていく。

《主な事業》

ア 市町村民会議地域懇談会・全体連携会議

- ・地域懇談会 県北 平成24年6月19日(火) 県南 平成24年6月22日(金)
県央 平成24年6月26日(火)
- ・全体連携会議 平成25年2月15日(金)

イ 携帯電話講習会

- ・小中学生やその保護者を対象として開催する講座
- ・特別支援学校等の児童生徒やその保護者を対象として開催する講座

ウ 市町村民会議の活動及び組織強化に対する助成

(2) 青少年の自立と社会参加活動の推進に関する事業

主体的に判断し行動できる資質や能力を身につけるための事業と、青少年が生き生きと体験活動ができる事業を実施し、青少年の健全育成を図る。

《主な事業》

ア 少年の主張発表大会

- ・栃木県大会 県内代表18名が発表 9月29日(土)
- ・地区大会 県内8地区で発表・審査 8月～9月

イ 顕彰事業

青少年、青少年団体・グループ、青少年指導者等の顕彰 11月

ウ 青少年リーダー育成団体に対する助成

(3) 青少年育成県民運動推進体制の整備に関する事業

青少年育成運動の一層の連携と推進を図るため、県や市町、教育委員会、子ども会、PTAなど関係団体との連携を強化し、県民運動推進体制の整備を図る。

ア 県・市町及び各種団体との連携強化

「心豊かな青少年を育む県民のつどい」の実施

イ 栃木県青少年育成指導員（38名）の任命と各市町への設置

青少年育成協議会（8地区）における青少年育成指導員研修会

ウ 機関誌「青少年とちぎ」の発行（年3回 各3,500部発行）

エ 賛助会員の加入促進

2 とちぎ未来クラブ事業

県民総ぐるみで、結婚を支援し、家庭を築き、安心して次代を担う子どもを生み育てる事ができる環境づくりを推進する「とちぎ未来クラブ」事業を実施する。

(1) とちぎ出会いサポート事業（結婚支援事業）

少子化対策の一環として、独身者の結婚活動を支援する。

ア 「出会いの場」創出事業

「結婚したいけど出会いの機会がない」「素敵な出会いがあれば結婚したい」と願う人に「出会いの場」を提供する。

イ 「出会いの場」イベント情報提供事業

「出会い応援団体（結婚を応援するNPO団体・ボランティアグループ・企業等）」が実施する「出会いの場」イベント情報をホームページで紹介する。

ウ 結婚サポーター事業

「地域結婚サポーター」や「企業内結婚サポーター」に対し、結婚支援事業の情報提供や活動支援を行う。

(2) 「とちぎ笑顔つぎつぎカード」事業（とちぎ子育て家族応援事業）

子育て家庭を応援する企業や商店等で、割引・特典等の優待サービスが受けられる「とちぎ笑顔つぎつぎカード」を子育て家族に配布するとともに、サービスを実施する協賛店舗・施設を拡充する。また、近県との事業連携を推進していく。

3 文化の振興に関する事業

(1) 文化振興事業

文化振興基金果実や事業収入等の財団自主財源、栃木県補助金等を財源として、舞台芸術の鑑賞事業や参加・創造・交流型事業、講座・支援・研修・情報提供事業等を実施する。(51事業 82公演)

ア 自主財源による文化事業

(ア) 一般会計／文化振興事業費

入場料無料で実施する公益性の高い各種文化事業を実施・支援する。

《主な事業》

- a NHK FM公開録音『ピアノコンクール入賞者演奏会』
- b 第22回栃木県郷土芸能大会支援事業
- c 第37回栃木県文化振興大会支援事業
- d マロニエ文化まなびのひろば(考古学セミナー・歴史セミナー他)
- e 栃木県文化協会支援事業
- f 文化情報収集・提供事業

(イ) 特別会計／文化振興事業費／文化振興会計Ⅰ

財団主催の各種文化事業及び民間事業等との各種共催事業等を実施する。

《主な事業》

- a 平日の贈り物シリーズ(羽石道代・三浦一馬・HAL & TATSUYA)
- b 演劇公演(加藤健一事務所及び劇団わらび座)
- c 松竹大歌舞伎公演
- d トイ・マジック・オーケストラ
- e ユンディ・リーピアノリサイタル
- f 村治奏一ギターコンサート
- g ヴァイオリンリサイタル(前橋汀子及び徳永二男)
- h 県内巡回公演(サンリオ・ファミリークラシック～クリスマスコンサート)
- i TAO～太鼓
- j 狂言～万作の会
- k その他県民文化に寄与する事業(共催事業/請負事業/プレイガイド運営事業等)

イ 栃木県補助金等による文化事業

(ア) 特別会計／文化振興事業費／文化振興特別会計Ⅱ

《主な事業》

a 鑑賞型事業

県補助金及び寄附金等財源に鑑賞型事業を実施する。

オーケストラシリーズ4事業(ポーランドシレジアフィル・ベルリン交響楽団・オーケストラアジア・読売日本交響楽団)

b とちぎ舞台芸術アカデミー

県補助金及び寄附金等財源に参加創造交流型文化事業を実施する。

(a) 音楽部門

第 17 回『コンセール・マロニエ 21』(弦楽器部門・声楽部門)

第 7 回栃木県ジュニアピアノコンクール

栃木県楽友協会『第九』演奏会 外

(b) 舞踊部門

第 17 回ロシア国立ワガノワ・バレエ・アカデミー留学生オーディション

第 19 回ロシア国立ワガノワ・バレエ・アカデミーレッスン講座

第 7 回ロシア国立ワガノワ・バレエ・アカデミーバレエ指導者講習会

第 1 回ロシア国立ワガノワ・バレエ・アカデミーバレエピアノ講習会

(c) 演劇部門

演劇ワークショップ(劇団わらび座)

(d) 古典芸能部門

日本舞踊ワークショップ(藝〇座)

謡曲&仕舞ワークショップ(喜多流)

(e) 講座部門

舞台芸術セミナー「文化人類学講座」

(2) 図書の刊行頒布事業

埋蔵文化財発掘調査報告書、しもつけ風土記の丘資料館特別展図録等、埋蔵文化財の調査や普及啓発に関する図書類を刊行頒布する。

4 生涯学習の振興に関する事業

財団主催事業として、県民の学習ニーズに合わせて当財団のソフト・ハードを活用して開催する講座等を、「栃木県民カレッジ」に登録して、広く県民に学びの場を提供する。(県民カレッジ登録予定講座数 41)

5 東日本大震災被災者修学支援事業

(1) 事業の目的

東日本大震災被災者支援義援金(とちまる募金)を主とした寄付金の配分方針を決定する栃木県義援金配分委員会において、「東日本大震災により被災した中学生以下の者の教育機会確保に資するため、東日本大震災被災者修学支援基金を設置する」旨が決定された。

青少年健全育成を設立目的の1つとする当財団は、当該基金を受け入れ修学支援金として対象者に支給する。

(2) 対象者

東日本大震災で被災し、平成23年3月11日時点において中学生以下だった者で、以下の基準日において栃木県内で生活している者。

(3) 基準日及び支給時期

① 県内対象者（800人見込）

毎年4月1日を基準日とする。

小学校入学、中学校入学、中学校卒業のいずれか直近で支給。

② 県外対象者（700人見込）

平成24年度4月1日を基準日とする。

一時避難中のため、平成24年度中に支給。

(4) 事業実施期間

平成24年度から29年度までの6年間で事業を終了。

（発災時に0才だった者が小学校に入学するまで）

6 埋蔵文化財の保護及び調査研究に関する事業

埋蔵文化財の保護及び調査研究を行うとともに、埋蔵文化財センターの管理運営及び事業を実施する。

(1) 埋蔵文化財発掘調査事業

栃木県、都市再生機構の委託を受けて、開発地内の埋蔵文化財の発掘調査事業を実施する。

※ 発掘調査及び整理作業予定件数 20件

《主な事業》

ア 栃木県からの受託事業

- ・重要遺跡/下侍塚北古墳等（大田原市外）、県営圃場整備確認調査（矢板市）
- ・小貝川沿岸2期地区/北ノ内・助五郎内・星ノ宮遺跡（市貝町）
- ・江川南部Ⅰ地区/小鍋内Ⅰ・Ⅱ、欠ノ上Ⅱ遺跡（さくら市）
- ・江川南部Ⅱ地区/山の神Ⅱ、欠ノ上Ⅰ・Ⅱ遺跡（さくら市）
- ・市ノ塚遺跡（真岡市）
- ・神田城南遺跡（那珂川町）
- ・興聖寺城跡・寺之後遺跡（佐野市）

イ 都市再生機構からの受託事業

- ・東谷・中島地区遺跡群（宇都宮市・上三川町）
- ・テクノポリスセンター地区遺跡群（宇都宮市）

(2) 栃木県埋蔵文化財センターの管理運営及び事業の実施

栃木県からの委託を受け、埋蔵文化財センターの施設維持管理を行うとともに、埋蔵文化財の保存・活用及び埋蔵文化財に関する知識の普及に関する事業を行う。

《主な事業》

ア 埋蔵文化財に関する情報収集及び提供

遺物・図面・写真等の貸出や「埋蔵文化財センターだより」（年3回）・「壁新聞」（年2回）を発行する。

イ 埋蔵文化財に関する普及・啓発

発掘調査報告会や現地説明会等の開催、埋蔵文化財センターの一般公開、各種講座の開催を通じて、広く県民に埋蔵文化財保護の重要性やその保存・活用についての理解や関心の向上に努める。

ウ 研修

市町埋蔵文化財担当者保存処理研修会及び埋蔵文化財担当者研修会を開催する。

エ 埋蔵文化財に関する出土品の保存処理

オ 埋蔵文化財に関する出土品の資料管理

(3) 出土遺物資料化等業務（緊急雇用創出事業）

栃木県からの委託を受けて出土遺物資料化等業務（緊急雇用創出事業）を実施する。

7 施設の管理運営に関する事業

指定管理者として県の委託を受けて、栃木県総合文化センター、子ども総合科学館、とちぎ海浜自然の家、なす高原自然の家、しもつけ風土記の丘資料館及びなす風土記の丘資料館の管理運営等事業を実施する。

このうち、しもつけ風土記の丘資料館については、平成 23 年度末に指定管理者としての 2 期目の 3 年間で終了予定であり、新たに第 3 期目の指定を受けた。あわせて、なす風土記の丘資料館について、平成 24 年度から新たに 3 年間の指定管理者として指定を受けたところである。両施設とも、これまでの管理実績や当財団の持つ人的資源を活かした管理運営を実施していく。

(1) 栃木県総合文化センター

県内文化振興の拠点施設である栃木県総合文化センターの施設管理及び利用サービス等を行うとともに、広く県民の文化振興を推進するため、県内各種芸術文化団体・公立文化施設等との人脈やネットワークを活かして、同センターを活用した文化振興事業を実施する。

《主な業務》

ア 施設利用受付業務

ホールやギャラリー、会議室、各種練習室等の貸出を行う。

イ 利用者サービス業務

催し物案内の発行、ホームページやメールマガジン等による催事情報の提供を行うとともに、文化団体や企業向けに施設利用促進を図る広告、広報活動を行う。

施設利用のアドバイスのほか、利用者のニーズに合わせてケータリングや会場設営などのサービスを提供する「らくらくサービス」事業を実施する。

ウ 施設の維持管理業務

来館者の安全を守るため、防災設備等の保守点検及び消防訓練を実施するとともに、危機管理マニュアルを整備する。

利用に支障が生じないよう快適な館内環境の維持や設備・備品等の管理を行う。

(2) 子ども総合科学館

子どもの科学への関心を高める魅力的な事業展開を図り、科学技術普及啓発施設としての役割を果たすとともに、学校や児童館との連携を強化し、大型児童館として県内児童館への技術指導や連携事業など実践的な活動を行う。

《主な事業》

ア 展示場の運営および各種教室の実施に係る事業

(ア) 展示場等の運営

展示品の解説、各種ショー、団体オリエンテーションなどを実施する。

(イ) 企画展の開催

第61回企画展「乗り物の科学とはたらく自動車」(仮)

「働く自動車」の実物展示、その仕組みの解説等と併せて、県内企業製品等を紹介することにより、子どもたちに県内企業の技術力の高さを伝えるとともに、科学技術への興味関心を高める。

(ウ) 科学技術コンクール ーロボット・チャレンジ 2012ー

ものづくりの機会の少なくなった青少年を対象に、自作ロボットの競技会を行う。

(エ) 各種教室の実施

「科学工作教室」、「わくわく工作」、「電子顕微鏡教室」、「移動科学教室」、「出張科学教室」、「小学生のための実験教室」、「テクニカルフェスティバル」などを年間を通して実施する。

イ プラネタリウム及び天文台の利用に係る事業

(ア) プラネタリウムの投影

129年ぶりに栃木県で観測できる「金環日食」など話題の天文現象や最新の宇宙科学などの内容と、季節に合わせた星空解説を盛り込んだ、一般向け番組を年間4本、年少向け番組を年間2本投影する。

また、天文学習の支援をねらいとした学習番組の投影、「星空さんぽ」、「星と音楽のひととき」など特別番組を投影する。

特に今年は、希望者を対象に、金環日食の原理や観察法について、より詳しく解説する特別番組を2回実施する。

(イ) 天文台の利用

土・日曜日の夜を中心に「星をみる会(年23回)」、昼間でも見ることのできる天体や太陽の観察を行う「天文台公開(年間26回)」を実施する。

また、子どもたちを対象にした「夏の大三角」の動きなどの観察会をはじめ、「金環日食」、日本では8年ぶりとなる「金星の太陽面通過」のほか、「金星食」について天文教室を実施する。

(ウ) その他天文普及活動

金環日食を安全に観察するための観察器や天体望遠鏡を作って、天体を観測する天文工作教室（年間2回）を実施する。

また、2012年に栃木県内で観測できる様々な天文現象についての情報提供を、インターネットや館内外の掲示物等により行う。

ウ 児童厚生施設としての利用に係る事業

(ア) 体験・育成事業

常設展示「遊びの世界」を活用した「あそびのプログラム」を毎日実施するほか、乳幼児の親子を対象とした「まめっこタイム（年間12回）」を実施する。

また、子どもたちの社会参画を促進する「おしごと研究室」や「おしごとラボ」を夏休み期間中に長期実施するほか、交流性を高める「とり+かえっこ」を含むプログラム「つきいちあそぼっくる（月1回）」を実施していく。

(イ) 県内児童健全育成団体等への援助・指導、連絡調整等の事業

あそびの出前等の事業、「児童館フェア」の開催、また栃木県児童館連絡協議会事務局として県内児童館の活動支援や連携の強化事業、県内の放課後児童クラブへの情報提供および指導員の資質向上のための研修事業、母親クラブの連携事業など、県内各種児童健全育成団体等への援助を行う。

(ウ) 乗り物広場の運営及び屋外遊具の管理

変わり種自転車の貸し出し、ミニS Lの運行とそれらの点検・整備等の実施、並びに屋外遊具リニューアルに伴うイベントの開催及び、遊具の安全点検を実施する。

(3) とちぎ海浜自然の家

栃木の子どもたちに海の自然や文化に触れさせる「海の分教場」、県民に多様な学習の場を提供する「生涯学習施設」としての役割を果たすとともに、「とちぎの海のふるさと」として県民に愛される施設を目指した管理運営を行う。

《主な事業》

ア 臨海自然教室事業（5～12月中旬 原則として学校の通常の授業日）

栃木県の小学5年生を対象に、海辺での集団宿泊や自然活動など、様々な体験的な学習を教育活動の一環として実施する。（「海の分教場」としての重点事業）

活動プログラムの提供を行うとともに、実施にあたっての指導助言などを行うことにより、安全に有意義な体験活動が行えるよう支援する。

イ 各種団体受入事業（年間随時）

県内の学校教育・社会教育団体や企業等を受け入れ、研修、交流活動、家族の触れ合い活動等を支援する。

施設・備品等の貸出しや活動プログラムの提供や活動に対する助言を行うことにより安全に有意義な生涯学習活動が行えるよう支援する。

ウ 主催事業（14事業）

周辺の自然環境を活かし、教育施設としての目的に合致した企画事業を実施する。

(ア) 海浜夏まつり

(イ) 海浜の初日の出

(ウ) 海浜の旬・あんこう

外

(4) なす高原自然の家

那須高原に位置する社会教育施設として、周辺の豊かな自然を活用した青少年の団体宿泊訓練や県民の多様な団体活動を支援することにより、青少年の健全育成と生涯学習の振興を図る。

《主な事業》

ア 各種団体受入事業

栃木県内外の学校、社会教育団体等の研修の場を提供し、活動を支援する。

施設・備品等の貸出し、活動プログラムの提供や活動に対する助言を行うことにより安全で有意義な生涯学習活動が行えるよう支援する。

イ 主催事業（6事業）

周辺の自然環境を活かし、教育施設としての目的に合致した企画事業を実施する。

(ア) エンジョイネイチャー～初心者のための登山教室～

(イ) クリスマスファミリーデー

(ウ) 冬のふれあい広場

外

(5) しもつけ風土記の丘資料館

周辺に存在する古代下野国の貴重な史跡、資料館展示品等及び当財団の人的資源を活かし、地域の歴史資料館として、郷土の歴史と埋蔵文化財保護の重要性を広く県民に伝える。

《主な事業》

ア 展示関係

常設展示のほか、春季及び秋季特別展、冬季企画展、ギャラリー展示を行う。

イ 講演会・講座・展示解説会

開館記念講演会、特別展記念講演会及び各種講座、特別展の展示解説会を開催する。

ウ 体験教室

「風土記の丘探検隊！！」「勾玉・石斧づくり」など各種体験教室を実施する。

エ 見学会

県外や県内の遺跡を見学する見学会を実施する。

オ その他

希望する学校（社会科見学）・団体への周辺史跡の案内・解説や、出前授業・出前
勾玉づくり教室を実施する。

(6) なす風土記の丘資料館

周辺に存在する古代那須国の貴重な史跡、資料館展示品等及び当財団の人的資源を
活かし、地域の歴史資料館として、郷土の歴史と埋蔵文化財保護の重要性を広く県民
に伝える。

《主な事業》

ア 展示関係

常設展示のほか、春季及び秋季特別展、夏季・冬季・冬春の企画展、ギャラリー展
示を行う。

イ 講演会・講座・展示解説会

開館記念講演会、特別展記念講演会及び各種講座、特別展の展示解説会を開催する。

ウ 体験教室

「勾玉づくり」「弓矢づくり」など各種体験教室を実施する。

エ 見学会

県外や県内の遺跡を見学する見学会を実施する。

オ その他

希望する学校（社会科見学）・団体への周辺史跡の案内・解説や、出前授業・出前
勾玉づくり教室を実施する。